

## 「2009エネルギーグループCSR報告書」の発行について

当社は、本日、グループのさまざまなCSR(企業の社会的責任)の取り組みについて取りまとめた「2009エネルギーグループCSR報告書」を発行しました。

今年度の報告書では、巻頭に「地球温暖化問題とエネルギー安定供給の同時解決に向けて」と題した特集を掲載し、社会の関心が高まっている地球温暖化問題への対応、エネルギーの安定供給と経済性の追求という相互に絡み合う課題の同時解決に向けたグループの取り組みを紹介しています。さらに、当社の幅広いCSRの取り組み状況を分かりやすくお伝えするため、「エネルギーグループCSR行動憲章」で定めた行動原則に沿った枠組みで一覧にし、掲載しました。

また、本報告書では、2008年度のCO<sub>2</sub>排出原単位について、当社として初めて、CO<sub>2</sub>排出クレジットを反映した数値を記載しています。(詳細は別紙2のとおり)

なお、昨年に引き続き、記載情報の信頼度を高めるため、重要なCSR情報について、株式会社 新日本サステナビリティ研究所による第三者保証を受けました。

本報告書の発行をはじめとして、皆さまとの双方向コミュニケーションの一層の充実を図り、皆さまのご意見を今後のCSRの取り組みに反映させることにより、信頼される企業グループを目指してまいります。

### 1. 記載内容

多岐にわたるCSRの取り組みを、経営面、社会面、環境面に大別し具体的に記載しています。(詳細は [別紙1](#)のとおり。総頁数93頁)

### 2. 発行日・発行部数

発行日:平成21年7月31日 発行部数:7,500部

### 3. 配布先

関係する行政機関および当社サービス区域内の図書館に配布するほか、ご希望の方にも配布します。

〔請求先〕中国電力株式会社 広報・環境部門 CSR総括担当

TEL 082-523-6180 FAX 082-523-6185

(インターネットでの請求先) <http://www.energia.co.jp/corp/active/csr/torikumi/csr2009.html>

### 4. その他

報告書の内容は当社ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.energia.co.jp/corp/active/csr/>

以上

【添付資料】 [別紙1:「2009エネルギーグループCSR報告書」の主な記載内容](#)

[別紙2:2008年度のCO<sub>2</sub>排出原単位について](#)

### 関連リンク

[CSR\(企業の社会的責任\)の取り組み](#)

## 「2009エネルギーグループCSR報告書」の主な記載内容

1. 社長メッセージ(2～3頁)  
持続的発展が可能な社会の実現に向けた、環境問題への対応、エネルギーの安定供給と経済性の追求という3つの課題の同時解決を目指す当社の取り組みなどについて、社長のメッセージを掲載しています。
2. 特集「地球温暖化問題とエネルギー安定供給の同時解決に向けて」(4～9頁)  
原子力開発の推進や新エネルギーの利用拡大など、エネルギーの供給安定性と経済性を維持しながらCO<sub>2</sub>排出を削減するさまざまな施策を、図表を交えて説明しています。
3. 企業理念、エネルギーグループCSR行動憲章など(10～14頁)  
当社の企業理念やCSRのベースとなるエネルギーグループCSR行動憲章を紹介し、8つの行動原則に基づく主なCSR施策や取り組み成果などについて報告しています。
4. 経営面(16～28頁)  
当社の経営の基本となるコーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスのほか、競争力強化、経営効率化などの取り組みについて報告しています。
5. 社会面(30～48頁)  
電気の安定供給や社会貢献活動などの具体的なCSRの取り組み事例を、お客さま、地域社会、株主・投資家の皆さまなど、当社のステークホルダーごとに分類し、報告しています。
6. 環境面(50～89頁)  
「CO<sub>2</sub>排出原単位の低減」、「廃棄物ゼロエミッションへの取り組み」をはじめとしたさまざまな環境問題への取り組みを、中国電力環境行動計画の環境行動指針にそって報告しています。
7. 第三者レビュー(90～92頁)  
社外の有識者の方々(アドバイザー会議、中国電力環境懇話会など)からいただいた当社の取り組み状況に対するご意見などを紹介しています。

以上

2008年度のCO<sub>2</sub>排出原単位について

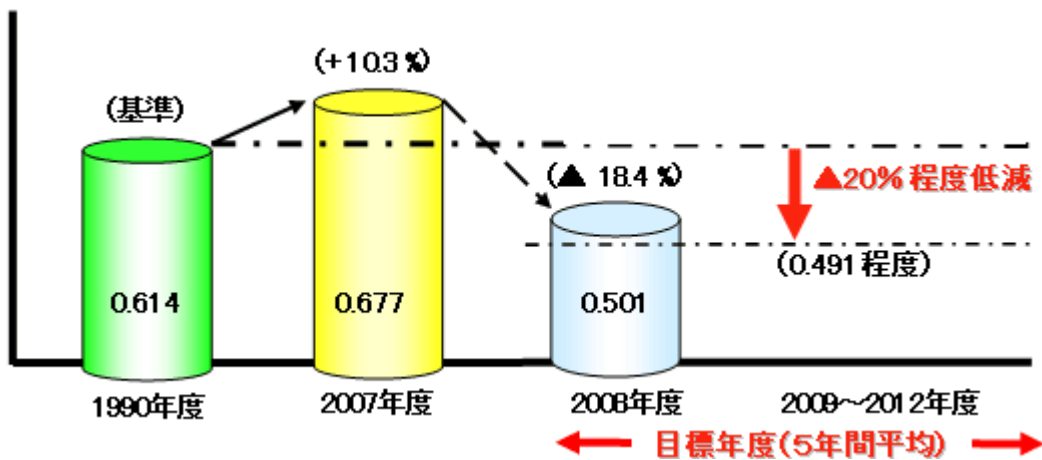
当社は、環境行動計画において「2008年度～2012年度におけるCO<sub>2</sub>排出原単位を1990年度実績から平均20%程度低減する」ことを目標に掲げ、運転中にCO<sub>2</sub>を排出しない原子力発電所の新規開発や既存設備の設備利用率向上のほか、CO<sub>2</sub>排出の少ないLNG火力発電の利用拡大等、さまざまなCO<sub>2</sub>抑制対策に取り組んでいます。

このほか、地球温暖化防止に向けた国際的な取り組みとして、炭素基金や温室効果ガス削減プロジェクトへ参加しており、2008年度はこれらのプロジェクトから得られたCO<sub>2</sub>排出クレジット1,061万t-CO<sub>2</sub>を、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、当社のCO<sub>2</sub>排出原単位へ初めて反映しました。

この結果、2008年度のCO<sub>2</sub>排出原単位は0.501kg-CO<sub>2</sub>/kWh(CO<sub>2</sub>排出量3,068万t)となりました。

なお、2008年度のCO<sub>2</sub>排出原単位0.501kg-CO<sub>2</sub>/kWhは、環境行動計画で定めた目標の基準年である1990年度実績から18.4%の低減となっています。

CO<sub>2</sub>排出原単位 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)



※2008年度実績は、CO<sub>2</sub>排出クレジット反映後の数値。

なお、反映前の値は0.674kg-CO<sub>2</sub>/kWh(CO<sub>2</sub>排出量4,129万t)となっています。

以上